

2019 年度 小委員会活動成果報告

(2020 年 1 月 23 日作成)

小委員会名	医療機関の電波利用に配慮した建築 計画検討 小委員会	主 査 名：遠藤 哲夫 就任年月：2018 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (電磁環境運営委員会)	委員長名：持田 灯 主 査 名：遠藤 哲夫
設 置 期 間	2018 年 4 月 ～ 2020 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	(設置目的) 建築構造及び建築設備が医用テレメータに与える影響を調査し、医療機関の電波利用に配慮した建築計画・建築設計・電波 環境調査手法に関する検討を行う。 初年度：建築構造及び建築設備が医用テレメータに与える影響の調査 2 年度：建築ガイドラインの作成 3 年度： 4 年度：	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：遠藤哲夫 (大成建設) 幹事：川邊 学 (埼玉医科大学) 委員：新 秀直 (東京大学)、泉 敬介 (関電工)、宇治川 智 (鹿島建設)、小熊 直樹 (大林組)、川瀬 隆治 (東急建設)、加納 隆 (滋慶医療科学大学院大学)、後藤 薫 (情報通信研究機構)、鶴田 壮広 (竹中工務店)、花田 英輔 (佐賀大学)、吉野 涼二 (環境調査事務所)	
設置 WG (WG 名：目的)	無	
2019 年度予算	4999 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	1. 第 10 回電磁環境シンポジウム 「建築電磁環境に関する教科書の作成、医療機器の電波利用に関するガイドライン作成への取り組み」 (開催延期)
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	なし
委員会活動の問題点 ・ 課題	なし

2019 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・最終年度評価)

総合評価 (4段階評価)	A B C D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	<div style="text-align: center;">○</div> <p>当委員会の主たる目標に対して下記の成果を得ることが出来た。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 建築構造及び建築設備が医用テレメータに与える影響の調査 →医療機器の電波利用に関するガイドライン（案）に調査結果を反映 (2) 医療機器の電波利用に関するガイドライン－医用テレメータ編（案）の執筆 →医療機器の電波利用に関するガイドライン－医用テレメータ編（案）のワーキングドラフトを完成させた。 (3) 第10回電磁環境シンポジウムの開催 →シンポジウム開催に向けての活動（講演内容、資料の準備等） <p>次年度より医療機器の電波利用に関するガイドライン－医用テレメータ編（案）の発行に向けた委員会活動を実施する予定である。</p>

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。